



町に関係する話題など広報係が取材したできごとをご紹介します。

先人がつなぐ国際交流の輪

台湾・大甲区長への親書を志賀哲太郎顕彰会に託す

11月9日に役場仮設庁舎応接室で、台湾の大甲区区長宛ての親書が、西村町長から志賀哲太郎顕彰会（宮本睦士会長）へ手渡されました。

同区は、本町出身の志賀哲太郎氏が、教育を通して住民と協働した地で、2012年に記念館が設立されるなど、いまだ同氏への尊敬の念が絶えません。

宮本会長は、「まだ先生の知名度も低いので、これを契機に町の、そして熊本県の誇りとして紹介し、さまざまな事業を進めていきたい」と話しました。



町長から親書を預かる顕彰会の皆さん



協定書に署名した幸田学長と西村町長

復興に向け特徴を生かした連携協力

町が熊本学園大学と包括連携協定を締結

町は11月10日、熊本学園大学と復興に向けた町づくりなどを連携して進める包括的連携協定を結びました。

これは、熊本地震直後から本町内で避難所運営支援などを行ってきた同大学と、産業復興などさまざまな分野において、さらに幅広く連携を図ろうとするものです。

西村町長は「特に、調査・研究など大学の優れたノウハウに期待しています」と述べ、同大学の幸田亮一学長は「福祉や商業などの分野で、マーケティングなどの専門知識と軽いフットワークを生かしたい」と述べました。

芸術の秋に、その集大成が花開く

第27回益城町文化祭を開催

町文化会館で10月28日と29日の2日間、第27回益城町文化祭が開催され、今回もステージ部門と展示部門の二つに分かれ実施されました。

初日には、全日本ブラスシンフォニーコンクール3年連続優勝の益城中吹奏楽部による演奏があり、オープニングを盛り上げました。ステージ部門では、歌や楽器演奏、ダンスや朗読など彩り豊かなパフォーマンスが繰り広げられる一方、展示部門では、書や伝統工芸などが展示され、訪れた人々を楽しませました。



思い思いに、渾身のパフォーマンスを披露しました

Best Smile
今月のベスト笑顔

